TDKの事業と社会的責任の認識

社会を豊かにし、人々の生活を快適なものにしてきたエレクトロニクス技術は、デジタル・ネットワーク社会を迎え、進化のスピードを早めています。エレクトロニクス機器の発達の基礎となる電子素材、電子部品の役割は、ますます重要になっています。TDKは1935年、磁性材料フェライトの工業化を目的として創業されました。以来70年以上にわたり、「創造によって文化、産業に貢献する」という社是のもと、フェライトを源流とする素材技術、その素材の特性を引き出すプロセス技術、評価・シミュレーション技術を展開し、独創的な価値ある製品を開発、提供してきました。
その過程を通じて蓄積してきたコア技術をナノテクノロジーで進化させるとともに「情報家電」「高速・大容量ネットワーク」「カーエレクトロニクス」の3分野に経営資源を集中させ、より価値ある技術と製品を開発し、さらなる成長を続けていきます。

成長3分野に経営資源を集中

● 情報家電

Flat-Panel Displays & DVD/HDD Recorders

今や情報家電の代名詞となった薄型テレビ。その発展の裏には、電子部品の絶え間ないイノベーションがあります。例えば、TDKが開発したHDMI用コモンモードフィルタは、高周波帯域のノイズを軽減する重要なノイズ対策部品です。美しい映像をより美しく見せるための大画面と、それに反比例する薄いボディ。それを可能にしているのは、「より小さく、より高性能」を追求している電子部品がそこにあるからです。

● 高速・大容量ネットワーク

高機能・多機能化するモバイル機器。想像を超える性能向上の実現に、TDKの技術が活きています。HDD搭載を支えるTMR/PMR磁気ヘッドや、ワンセグの受信性能を支えるノイズ対策部品、高周波回路に用いられるバンドパスフィルタなど携帯電話のあらゆるところで活躍。ノートPCの世界では、簡単に高速無線LAN対応を実現するモジュールのほか、ハイビジョンコンテンツに対応し、大容量・高速記録を可能にしたBlu-ray Discも提供。さらなる進化を支えています。

Cell Phones & Portable Audio

Personal Computers/Blu-ray Disc

● カーエレクトロニクス

"走るコンピュータ"化が進む自動車。ここでもTDKの製品は活躍しています。高耐熱性チップコンデンサや、車載LAN規格であるCANの差動伝送信号からノイズを除去するコモンモードフィルタなど、高信頼性の製品を提供。また、業界に先駆けてハイブリッド車用DC-DCコンバータを開発し、メインモータに不可欠なネオジムマグネットは世界トップレベルの高磁束密度・高保磁力を発揮。燃費の向上や安全・快適性の実現に力を発揮しています。

Automobiles & Car Navigation

21世紀の社会と企業の社会的責任

現在の社会においてCSRは、ますます重要性を高めています。21世紀を迎え、地球規模での資本市場の拡大と情報技術の発達は、企業活動のグローバリゼーションをさらに進展させています。それが新たな貧富の格差拡大や環境破壊をもたらすと懸念されているのも事実です。企業は社会の一員、一部であり、社会との関係を無視しては、その存続はありえません。近年、行き過ぎた財務情報中心の企業価値判断は是正を余儀なくされています。こうした中、環境活動や社会活動など、経済面以外の活動について高い関心を持つステークホルダーが増えてきました。その結果、企業には、その活動のプロセスに社会的公正性や環境への配慮などを組み込むことが必須となっています。同時に、ステークホルダーに対してCSR上の重要な情報を積極的に開示することが求められています。

TDKが持続可能な企業であり続けるために

CSRに関心が高まる中、近年、企業が将来にわたって持続可能であり続けるためには、
(1)経済的側面：経済的にきちんと利潤をあげていること
(2)環境的側面：環境に対して配慮していること
(3)社会的側面：持続可能な社会の発展に寄与していること
のトリプルボトムラインをバランス良く発展させることが必要との認識がなされてきました。当社は、「e-material solution provider」のコンセプトのもと、さまざまなステークホルダーが必要としている情報を積極的に開示し、継続的な対話を通じ、相互理解、課題の共有、問題解決を進めていくことで、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続可能な企業として、企業価値の向上に努めたいと考えています。